プレスリリース　上田市

令和６年１１月２８日

報道機関 各位

５件の美術工芸品を
上田市指定有形文化財に指定しました

令和６年１１月２８日に５件の美術工芸品を、下記のとおり新たに上田市指定有形文化財に指定しました。

上田市指定有形文化財は、１２６件（建造物３８件、美術工芸品８８件）になりました。

記

１　指定日　令和６年１１月２８日

２　指定文化財の名称等　（文化財の概要は別添資料参照）

	名称	種別	員数	所有者	所在地
１	刀	有形文化財（美術工芸品）	１口（ふり）	個人	上田市常磐城
２	木造大日如来坐像		１躯（く）	宗教法人前山寺	上田市前山
３	木造薬師如来立像		１躯（く）	神畑自治会	上田市神畑
４	木造阿弥陀如来坐像		１躯（く）	宗教法人芳泉寺	上田市常磐城
５	木造阿弥陀如来坐像		１躯（く）		上田市常磐城

３　その他

新指定文化財のうち、２・３・５の３件は、令和７年１月１１日から上田市立美術館で開催する特別展「ハッケン！上田の仏像」に出展されます。

上田市は「SDGs 未来都市」です。

上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

上田市教育委員会 生涯学習・文化財課
課長：上原
係長：古平　担当：松井、谷口
電話：0268-23-6362
FAX：0268-23-6368
メール：shogaku@city.ueda.nagano.jp

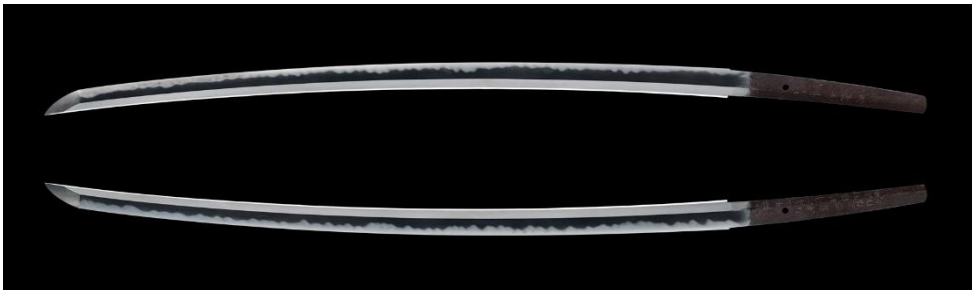
別添資料

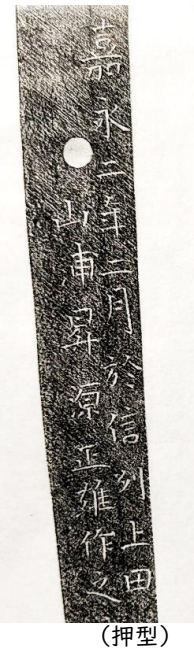
新指定文化財の概要

1　刀

江戸時代後期の刀工 山浦真雄によるもので、刀銘に「嘉永二年二月於信州上田　山浦昇源正雄作之」とある。長さ75.7cm。

弘化から嘉永年間にかけての作刀は佳作多く、特に上田打ちは山浦真雄の円熟期とも評される。本作は、上田で鍛えられたことが刀銘から確認できる数少ない刀であり、出来栄え、保存状態とも良く大変貴重である。山浦真雄の上田での活動や作刀技術を考究する上で重要な価値がある。





（押型）

2　木造大日如来坐像

智拳印を結ぶ金剛界の大日如来像で、前山寺の本尊として本堂須弥壇上に安置されている。木造の寄木造り。像高 70.4cm。髪際が大きく湾曲する宋風の髪型で、鎌倉時代の作例によく見られる特徴である。

頭体の奥行きは深く、体躯は肉感的で抑揚があり、衣文線も隅々まで入念に彫られていて、特に裙の折り返し部には動きがある。また細かく入念に彫られた毛筋や衣全体に施された精緻な截金文様は特筆され、像全体の完成度は極めて高い。像本体の出来栄え、精緻な截金も見事であることから、鎌倉時代の 13 世紀前半から中頃に制作されたとみられる。市内の鎌倉時代とみられる作例の中でも出来栄えも見事で、保存状態も良いことからきわめて貴重である。

3　木造薬師如来立像

超誓寺境内にある神畑薬師堂の本尊として須弥壇上に厨子入りで安置される、極めて珍しい天部形の薬師如来像である。

頭体幹部は両袖、裙裾まで含んで檜とみられる一材より彫出する。像高 58.8cm。左手に薬壺を執り薬師如来とされるが、通例の如来形とは異なり吉祥天のような唐服を着ける珍しい作例で、一般に吉祥薬師などと称される。本像の制作時期としては 9 世紀の名残を残した 10 世紀前半の作と考えられる。本像は特異な姿形の薬師如来であるばかりか、その制作は 10 世紀前半にまでさかのぼり、木彫像としては市内でも最古例に属する作例として大変貴重といえる。

4　木造阿弥陀如来坐像（本尊）

来迎印を結ぶ阿弥陀如来で、芳泉寺本尊として本堂須弥壇上に脇侍の観音菩薩、勢至菩薩（いずれも江戸時代の補作）とともに安置される。桂とみられる寄木造り。像高 87.4cm。

体奥が浅く、丸顔でおっとりとした面貌、彫眼であることには平安時代後期の名残を残しているが、がっしりとした肩や厚みのある両脚部、目尻を少し吊り上げた面貌には鎌倉時代の特徴を備えており、12 世紀後半の制作とみられる。

芳泉寺は仙石氏の菩提寺としての名称だが、その前身は常福寺といい、上田城築城当初から現在の地にあって真田氏とも関係が深い。その後、真田信之が亡妻大連院（小松姫）の菩提寺とするため、当時の地方には稀な大伽藍を造営し、元和 8 年（1622）に大英寺と改称するが、本像は建て替えられた大英寺本堂にふさわしい新たな本尊として迎えられたものと考えるのが妥当であろう。上田市内には中世にさかのぼる等身以上の作例はあまり多くなく、また信之による大英寺造営に関わるものと考えられることから、歴史的にも重要な位置づけができる作品である。

5　木造阿弥陀如来坐像（裏本尊）

　現在、芳泉寺本堂の須弥壇裏に安置される定印の阿弥陀如来像である。檜材の割り矧ぎ造り。像高 34.8cm。

　浅く穏やかに整えられた衣文線やなで肩で体奥の浅い側面観には平安時代後期のいわゆる定朝様の特徴がみられるが、玉眼であることや頬の引き締まった顔つき、背面観では衣を通して肉身の抑揚を感じさせる点に鎌倉彫刻の趣が感じられ、平安末期から鎌倉時代へ移行する 12 世紀後半の制作とみられる。像高約一尺という小像でありながら、プロポーションが良く、全体的に手堅くまとめられており、仏師の技量の高さが感じられる。現在は本堂須弥壇裏に安置され、伝来は不明であるものの、中央の正当な作風を示す作品として重要である。

上田市文化財保存活用地域計画関連事業 ／ サントミューゼ 開館10周年記念事業

SANTO MYUZE

特別展

ハッケン! 上田の仏像

木造惟仙和尚坐像　安楽寺　重要文化財

木造阿弥陀如来立像　芳泉寺　上田市指定文化財

薬師如来立像　神畑薬師堂

木造十一面観音菩薩立像　実相院　長野県宝

大日如来坐像　前山寺

上田の仏像集結!

姉妹都市・鎌倉の建長寺をはじめ、上田にゆかりのある市外の貴重な仏像も招き、重文7件、県宝4件、市指定文化財8件を含む約70点が一堂に会します。

2025 1/11(土) → 3/9(日)

9:00～17:00
(入場は16:30まで)

サントミューゼ UEDA SANTOMYUZE **上田市立美術館** (長野県上田市天神3-15-15)
TEL 0268-27-2300

休館日 ● 火曜日〔ただし、2月11日(火・祝)は開館し、翌2月12日(水)振替休館日〕

主催：上田市の仏教美術展実行委員会(上田市・上田市教育委員会 ほか)
共催：信濃毎日新聞社／NBS長野放送
後援：上小仏教会／(一社)信州上田観光協会　監修：武笠朗(実践女子大学文学部教授)
協力：実践女子大学 武笠研究室、萩原哉(玉川大学教育博物館准教授)、
小倉絵里子(実践女子大学講師、上田市文化財保護審議会委員)、織田顕行(飯田市美術博物館副館長補佐兼学芸係長)

文化庁　JAPAN CULTURAL EXPO 2.0

助成：令和6年度
地域ゆかりの文化遺産を
活かした展覧会支援事業

前売券

一般のみ　1,000円

上田市立美術館ミュージアムショップで
12月1日(日)から1月10日(金)まで販売

当日券

一　般	1,200円(1,100円)
高校・大学生	500円(450円)
小・中学生	300円(250円)

※上田市、東御市、青木村、長和町、坂城町、立科町、嬬恋村に在住・通学する小中学生は無料　※( )内は20名以上の団体料金　※障害者手帳携帯者は半額、介助者1名は無料　※未就学児は無料
※同チケットで山本鼎コレクション展示も観覧可

上田の仏像を総合的に紹介するはじめての展覧会

上田市は、奈良時代に信濃国分寺が置かれ、中世には塩田平を中心に仏教文化が華やかな展開を果たしました。上田市教育委員会が平成28年度から実施した「仏教美術（仏像）悉皆調査」では、古代・中世にさかのぼる貴重な仏像の存在や、近世・近代の地域性の強い造像活動の広がりが確認され、上田の地においてこれまで考えられてきた以上にゆたかな仏教文化が育まれていたことが明らかになってきています。

本展では、約1500体に及ぶ調査の中で新発見・再評価されるにいたった古代・中世の仏像を中心に、地域を代表する仏教美術の名宝や上田にゆかりの深い市外の仏像、肖像の優品などもあわせて紹介し、上田の地における仏教文化のあゆみをたどります。

本展が、地域の新たな魅力を“ハッケン”する機会となれば幸いです。

ハッケン!! 上田の仏像

千手観音菩薩立像
長福寺

蘭渓道隆禅師、
樵谷惟仙和尚（安楽寺）と
770年ぶりの再会！

木造蘭渓道隆坐像　建長寺　重要文化財

関連イベント

展覧会監修者講演会「調査でハッケン！上田の仏像」

2月8日（土）13:30～15:00

講　師／武笠朗氏
（実践女子大学文学部 教授）
会　場／サントミューゼ　多目的ルーム
定　員／70名（事前申込制・先着）
参加料／資料代200円、
要観覧券または半券

ギャラリートーク

1月19日（日）、3月2日（日）
各回13:30～14:10

講　師／小倉絵里子氏
（実践女子大学 講師、
上田市文化財保護審議会委員）
会　場／美術館2階展示室
参加料／観覧券をご購入ください
※申込み不要

スライドトーク

本展の主な仏像についてスライドを使って解説します。

2月28日（金）18:30～19:30

講　師／萩原哉氏
（玉川大学教育博物館 准教授）
会　場／美術館　子どもアトリエ
定　員／60名（事前申込制・先着）

夜のさんぽミューゼ（夜間観覧）

夜の美術館で、鑑賞とティータイムをゆったり楽しんでみませんか。今回は、上田の仏像の歴史的背景などを、調査に携わった常楽寺美術館の学芸員がご案内します。

1月31日（金）18:00～20:00
※トークは18:30開始

講　師／中沢徳士氏
（常楽寺美術館 学芸員、元上田市教育委員会生涯学習・文化財課 担当幹）
会　場／美術館2階展示室
定　員／20名（事前申込制・先着）

講座「修復の現場を知る～ハッケン！地域のほとけさま」

文化財修復と保存についてのお話を聞き、展示中のお像と損傷したお像の観察をしてみる講座です。修復技法の実演を見た後は、ミニ体験ワークショップもあります。

2月22日（土）13:00～16:30

講　師／長谷川高隆氏
（信濃仏像修復所代表、天台宗智照院副住職）ほか
会　場／美術館
子どもアトリエ、2階展示室
定　員／16名（事前申込制・先着）
※高校生以上

本展には、作品解説に英語、中国語（簡体語、繁体語）の翻訳サービスがつきます

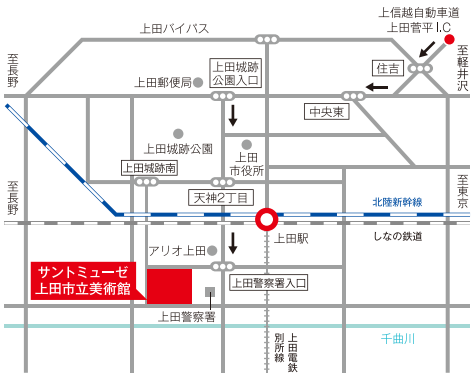
同時開催

子どもアトリエプログラム　なるほど!? 美楽「お守り仏像ワークショップ」

手のひらサイズの「お守り仏像」をつくります。北向観音のお坊さんから、お守りについてのお話もお聞きします。

2月16日（日）10:00～15:00（お昼休憩60分含む）

講　師／清水雄（上田市立美術館 学芸員）
会　場／子どもアトリエ
定　員／16名（応募多数の場合は抽選）
※小学校3年生から大人まで
参加費／1,000円（受講料・材料費含む）



ACCESS　アクセス

お車で■上信越自動車道「上田菅平I.C」から約15分
駐車場台数390台

電車で■北陸新幹線・しなの鉄道・上田電鉄別所線
「上田駅」から徒歩約7分

詳細はホームページをご覧ください。

サントミューゼ UEDA SANTOMYUZE